

いつも応援ありがとうございます！ エコチル調査メールマガジン第42号をお届けします。

☆☆☆ 2017年2月18日（土）、第6回エコチル調査シンポジウム開催 ☆☆☆

今回は、子育ての様子をつづったインスタグラムが話題のタレント、【アンガールズ・山根良顕さん】の特別講演（対談）や、詳細調査（訪問調査）の実物展示があります。ぜひお越しください！

※お申し込みは→<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>

〈目次〉

1. エコチル調査からのお知らせ
2. おしえて、エコチル先生！
3. ユニットセンターから「今月のひと言」

★

## 1. エコチル調査からのお知らせ

★

○ 第6回エコチル調査シンポジウムを開催します！

日 時：2017年2月18日（土） 14:00～16:10

場 所：江戸東京博物館 1階ホール

※参加無料、託児サービスあり

＜プログラム・出演＞

■エコチル調査の概要 ～生活環境からわかったことの紹介～  
新田裕史氏（エコチル調査コアセンター長代行）

＜特別講演（対談）＞

■新米パパから見た子育てについて  
山根 良顕 氏（タレント アンガールズ）  
大矢 幸弘 氏（エコチル調査メディカルサポートセンター特任部長）

■パネル・ディスカッション

テーマ：子育てを支える色々な立場から見た子育てと生活環境

コーディネーター：

山縣 然太郎 氏（エコチル調査甲信ユニットセンター長）

パネリスト：

山根 良顕 氏（タレント アンガールズ）

櫻井 香澄 氏（エコチル調査宮城ユニットセンター）

藤谷 宏子 氏（日本小児科医会理事）

新田 裕史 氏（エコチル調査コアセンター長代行）

ファシリテーター 日本科学未来館 科学コミュニケーター

※ 申込方法は、エコチル調査ホームページの新着情報をご覧ください。  
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>

★

## 2. おしえて、エコチル先生！



エコチル調査のあれこれをご紹介します、「おしえて、エコチル先生！」。

エコチル調査では、約10万人の参加者全員を対象にした全体調査と、そのうち5千人を対象とした詳細調査を行っており、詳細調査の一つに「医学的検査」があります。

今回は、国立成育医療研究センターの目澤秀俊先生に「医学的検査」の意義と、小さなお子さんを対象にした検査を実施するうえで工夫されていることをお話しいただきました。

☆ ☆ ☆

「医学的検査って、なにをやってるの？」

エコチル調査の「医学的検査」では、全体調査の質問票ではわからないような、お子さんの肌の様子を観察したり、身長・体重や血圧を測定したりといった、直接お子さんにお会いして行うことが必要な検査を実施しています。また、その場でお子さんに受け答えしてもらって、その反応を見たり、採血をして血液を測定したりしています。

全国の対象児を同じ機器、同じ測定法により調査することで、身長や体重、血圧、肌の様子やお子さんの発達について精度の高いデータを得ることが出来ます。また採血を行うことで、アレルギー体質を評価する非特異的IgE抗体、具体的に何の物質（卵やダニなど）に反応しているのかを示す特異的IgE抗体、成長・発達のホルモンである甲状腺ホルモン、骨の生成に関わるビタミンDといったものを測定することができます。

詳細調査の対象である2歳のお子さんにとって、採血をされるのは苦痛なことです。しかし、血液検査を行うことで、身体計測や診察ではわからない、身体の中のホルモンの動きやアレルギー体質など客観的な多くの情報が得られます。これらは環境と子どもの成長・発達を調べるエコチル調査にとって重要な評価項目です。

エコチル調査では、採血の苦痛やストレスをできるだけ小さくするために、5つの工夫をしています。まず、採血部屋を可愛らしくデコレーションし、お子さんの緊張をやわらげる環境を整えます。そして、事前に採血の流れを説明し、保護者とお子さんの不安をとりのぞきます。採血時には保護者の方に抱っこしてもらい、お子さんが安心できる姿勢をとります。そのうえで、ビデオや絵本を見せて気をそらし、余計なストレスがかからないよう工夫をしています。さらに、希望者には、注射針を刺したときの痛みを減らす「痛み止めの薬」（クリームやテープ）を使用し、採血の不安と痛みの両方を軽減しています。

これらの工夫により、半分以上のお子さんが、痛みが少ない・痛くないといってお帰りになり、お母さん方の中には、お子さんが泣かずにできたことを喜んでおられる方もいらっしゃいます。初めての場所で初めての人同士で実施するエコチル調査の医学的検査ですが、参加されるお子さんにとっても成長できるよい機会となれるよう、努力して行っております。



## 3. ユニットセンターから「今月のひと言」



エコチル調査では、全国15地域で10万組の親子に調査に参加していただいております。各地域のユニットセンターが、参加者の皆さまをサポートしています。

このコーナーでは、各ユニットセンターの地域での取組をご紹介します。

テーマは、前号に続き、「ホームページの見どころ！」。

◎大阪ユニットセンター

大阪ユニットセンターでは、ホームページにイベントの告知や報告、お子さんからのぬりえ、「子育て応援リレーコラム」を掲載しています。  
子育て応援リレーコラムでは、季節的に流行する病気やその予防などを中心に皆さまが子育てをしていく中で気になるであろうことや、皆さまに知っていただきたいことについて、ユニットセンター所属の小児科医、産婦人科医、公衆衛生学の教員がわかりやすく解説しています。ぜひご覧ください。  
<http://www.ecochil-osaka.jp>

◎兵庫ユニットセンター

参加者だけでなく、より多くの方々にエコチル調査に親しみをもってもらいたくため、兵庫ユニットセンターのホームページでは、2015年7月に「エコチルママのブログリレー」を開始しました。エコチル調査に参加されているお母さんに3か月間ブログを執筆していただき、次の方にバトンタッチします。現在までに7名のお母さんに参加していただき、子育てや日々の出来事、エコチル調査への思いなどを綴ってもらい、ページを盛り上げていただいております。  
<http://www.ecochil-hyogo.jp/>

◎鳥取ユニットセンター

鳥取ユニットセンターでは年3回、広報誌「がいなだより」を発行し、HPにも公開しています。昨年9月発行の第11号はシルバーウィークに祖父母の方と楽しめるよう、昔遊び「ゴムボールを使った数え歌」を紹介し、「お楽しみコーナー」に、実際にスタッフが数え歌をやってみた動画を公開しました。  
また、スタッフブログでイベントの様相を紹介したり、ブログのプロフィール画像を季節にあったものに月1～2回の頻度で更新したりと、参加者の皆さまに身近に感じていただけるよう心掛けています。  
<http://www.ec.med.tottori-u.ac.jp/>

☆各ユニットセンターで工夫をこらしたホームページ。  
皆さまも一度のぞいてみませんか？

～☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----～

「サポーターの皆さまへのお願い」

あなたの身近な人に、エコチル調査をお知らせいただけませんか？  
10万組ものの方々に参加を続けていただくためには、  
ひとりでも多くの人に、エコチル調査を知っていただく必要があります。  
子どもたちのすこやかな未来のために、ぜひともご協力をお願いします。

～☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----☆-----～

- ・エコチル調査ホームページ  
⇒ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>
- ・メールマガジンのバックナンバーはこちら  
⇒ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/mailmagazine/backnumber.html>
- ・メールマガジンの配信停止  
下のアドレスへ空メール(タイトル、本文未入力)を送信してください。  
⇒ [ecochildteishi@ecochil.go.jp](mailto:ecochildteishi@ecochil.go.jp)
- ・配信先メールアドレスの変更をご希望の方は、  
新しいメールアドレスで再度サポーター登録をお願いします。  
⇒ <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/entry/index.html>

※このメールアドレスは配信専用です。

発行／編集  
環境省 環境保健部 環境リスク評価室  
エコチル調査担当

